

令和2年度 第2回恵庭市食育推進協議会 会議録

日時：令和3年2月8日(月) 14時30分～15時00分

場所：えにあす2階 会議室8

出席：(委員) 服部委員、三浦委員、島田委員、戸花委員、新田委員、根深委員、滝沢委員
(代理：三浦氏)、早川委員、渡部委員、加藤委員、島尻委員
(事務局) 保健センター長、保健課長、母子保健・食育担当主査、保健課栄養士、保健課保健師

欠席：亀石委員、林委員、斉藤委員、井内委員、松田委員、山崎委員、西中委員、藤井委員、藤田委員、藤井委員

傍聴：1名

1. 開会

会議の出席は委員総数20名中11名であり、恵庭市食育推進協議会設置要綱第5条の規定により成立。保健センター長より挨拶。

2. 議題

会長の進行により、議事の審議が進められた。審議内容は次のとおり。

1) 「第3次恵庭市食育推進計画 中間評価について」

事務局より資料1をもとに報告。

・A 委員より意見

領域3の⑩「学校給食における恵庭産食材の活用」の現状値について策定時の21%から9%に下がっている要因として、出典元の「調査研究事業報告書(発行：恵庭市学校給食協会)」において野菜のみの使用率を用いていることが考えられる。現在、恵庭市の学校給食において恵庭産の米を使用しているため、米の使用量を含めると、H30では34%となる。今後、「調査研究事業報告書」の恵庭産食材使用率について、米を含めた率に変更することについて検討の余地がある。また、農家との年間契約を行っていないことにより、恵庭産の野菜の使用量が減少したことも考えられるが、今後も引き続き恵庭産食材の使用に努めたい。

・B 委員より事務局へ質問

Q. 中間評価において、評価のための調査ができなかった要因として、新型コロナウイルス感染症が影響しているのか、それとも他の要因であるのか？

A. 新型コロナウイルス感染症による影響ではなく、中間評価のための調査計画が不足していたため。次期計画ではこの点について具体的に整理して策定していきたい。

・ C委員より意見

学校給食の恵庭産食材の活用については、品目ごとに評価をしたり、数値だけではなく、言葉で補って評価をしていってもよいのではないか？<評価区分>の表現方法について、B（改善）が改善傾向にある C（悪化）が悪化しているとの表現になっているが、C（悪化）悪化傾向という表現にしてはどうか。

・ 会長より意見

評価として、(N) 評価不能ではなく、参考値でもよいので提示できるようになれば良いのではないかと。

2) 令和 2 年度食育推進事業報告書と次年度計画について

事務局より、「令和 2 年度食育推進事業報告および次年度計画」について資料 2 をもとに報告。

3) その他

・ 事務局より、「令和 2 年度 恵庭市食育講演会ダイジェスト版」について資料 3 をもとに情報提供。また、次回協議会スケジュールについて説明（令和 3 年 7 月開催予定）。

・ 地域 FM 放送 e-niwa 三浦氏より、「恵庭の野菜のうた（仮）」について別紙をもとに情報提供。

3. 閉会